

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	はしご付消防ポンプ自動車整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	09	01	03	05
05	72							
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	高市 薫			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	はしご付消防ポンプ自動車	意図	当該車両のはしご装置の主要部品の点検整備を行い車両の安全性を確保する。
事業内容	平成11年度に購入したはしご付消防ポンプ車は、消防車両の安全基準によるオーバーホールの整備時期に該当するため点検整備を行うもの。			
事業開始から現在までの状況変化	総務省消防庁から通知された「消防車両の安全基準」によるオーバーホール整備時期が前回実施した平成21年度から5年経過たため点検整備の実施時期となったもの。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 市内の中高層建築物数	457	472	490	棟	→→	
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度	近年、新市街地等の地域において建築行為等が、増加していることに伴い中高層建築物の棟数も増加している状況で、災害時には、はしご付消防ポンプ車の必要性も増加しているため、今後の対応について検討が必要となっているもの。		
事務事業の総計(a=b+c)				29,925,840			
事業費(b)(円)				27,853,060			
うち一般財源				13,002,060			
職員給与費(c)(円)				2,072,780			
人役・職員(人)				0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	当該車両のオーバーホール整備を行い安全性能を確保し各種災害活動の対応が実施できること。	③取り組みの課題	当該車両は、今後Nox・pm法の規制により車両運行の規制が該当するため更新が必要となる。
②今年度(H26)に実施した取り組み	当該車両のオーバーホール整備を行い安全性能機能を確保して各種災害活動へ対応できる車両とした。	④今後の改善計画	当該車両は、今後Nox・pm法の規制により車両運行の規制が該当するため車両の更新を検討する。